

創刊号

有機健康 つうじん

遠赤青汁通信 (H17.4.1 発行)

遠赤青汁商品に使用する原材料の大半は
靈峰石鎚山のふもと道前道後平野で契約
農家の方が有機栽培しています。
その様子を中心に遠赤青汁ファンの皆さ
まに様々な情報を届けするため季刊誌
を創刊いたしました。

遠赤青汁株式会社

〒791-0390 愛媛県東温市則之内甲 2225-1

TEL 通話料無料 0120-148-162

インターネット <http://www.enseki.com/>

ごあいさつ

世界で類をみない急速な高齢、少子化社会を迎える。医療費の増加高額化による国民負担は大きな社会問題です。生活習慣病は勿論、犯罪の低年齢化、善惡の希薄化、無責任な考え方等は偏った食生活に起因するという考えを強く持っています。

私は若いころ大病に罹り、長期間薬を服用したため副作用に因り、生死を彷徨った経験があります。その時、京都大学名誉教授の片瀬先生の「カルシウム医学」、遠藤二郎先生の「青汁」二冊の本に出会い、健康を取り戻すことができました。

大自然の恵みとその力を丸ごと食することが大切であり、健康の基本はバランスのとれた食生活を実行することだと思います。そうすれば、相手の立場や、善惡、責任の所在など正しい判断ができる、明るい社会を構築することができます。

循環型社会を目指し、化学肥料を使用せず、有機栽培農法による原料を遠赤外線を利用した独自の製法技術開発で、栄養価と色、香りの向上を図り、しかも無添加製法にこだわり、大学、研究機関との共同研究で学会発表も度々していただきました。

今後も循環型社会の構築と皆様の健康で充実した毎日のお手伝いができますよう発信させて頂きます。

お客様からお預かりしている大切な個人情報を守るために、JIS規格に基づいて安全管理をさらに徹底中です。

「プライバシーマーク」取得にむけて

社会の情報化が急速に進展し、私達の生活は大変便利なものになりました。その反面、個人情報の漏洩事件が後を絶たず、個人情報保護の重要性が社会的にも大きな問題となっています。

このような状況のもと、個人の権利と利益を保護する為に、個人情報保護を取り扱っている事業者に対し、様々なルールを定めた個人情報保護法が、平成十七年四月一日より全面施行される事となりました。

しかし個人情報保護法は、必要最小限のルールを取り決めたものであります。事業者が事業などの分野の実情に応じ、法律的に取り込む事が重視されています。そこで誕生したのが、JIS規格であるJIS Q 15001「個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項」です。この規格には、お客様からお預かりした大切な個人情報を守るためにのルールが、具体的に細かく定めています。



社内の勉強会。みんな熱心に聞き入っています。
ノートにもメモがピッタリ記入されています。

遵守することで、「プライバシーマーク」制度の認定を受けることができます。プライバシーマークは、個人情報保護体制が整備されていることが認められた信頼の証です。私たちも本年夏に、このプライバシーマークが取得出来るよう全社一丸となって頑張っています。

桜にたくす 平和への願い

花々が美しい、あらゆる生命が芽吹く季節が参りました。

弊社社長高岡の父正明が、第二次世界大戦で失った教え子達の死を追悼し、平和への願いを託し桜の植樹を初めてから約四十年。

正明は、厳しい気候の下でも花を咲かせるよう桜を改良し、天地に恵みを与える日の光となるように」という願いを込め『陽光』と名付けました。そして、桜の苗木を世界各地に寄贈してきました。それが戦場から戻ることのなかつた教え子達へのせめてもの懺悔だったのでしょうか。正明が亡くなつてからは息子であります。弊社社長高岡がその意志を引き継ぎ、毎年沢山の桜の苗木を贈り続けています。



青い空の下、可憐な姿を見せる陽光桜

いう厳しい気候の中で陽光桜は元気に育っていました。

現地ではリトアニア副大統領と一緒に桜の苗木を植樹。数年後には、ほかの桜たちのように美しい花を咲かせる事でしょう。

遠赤青汁株式会社
代表取締役 高岡照海



リトアニアの方々が見守る中、桜の苗木を植樹。
数年後には陽光桜独特の濃いピンクの花を咲かせます。

地域再生に挑む

地域に密着した循環型社会を目指して、新しい取り組みを始めました。



ジャングルのように荒廢した農地。草木に埋もれ、土がまったく見えません。

東温市に隣接する西条市丹原地区は、野菜や果物の栽培が盛んな地域です。しかし、その地域も農業従事者の高齢化が進むにつれ、放置されたまま荒廃していく農地が目立つようになりました。

なってきました。”このままではいけない。荒廢した農地を生き返らせ、元気な地域づくりを”こんな信念かなら、地域再生への取り組みは始まりたのです。ですが、その道程は容易なものではありませんでした。

荒廢した農地を所有されている方々に、協力していただけるよう高岡は自らが何度も何度も足を運びました。最初は全く相手にされていませんでしたが、その熱心な様子に心を動かされたのでしょう。一人、また一人と協力に応じてくれる人が増えたのです。けれども、本当に大変なのはこれからでした。

案内された農地を見てさすがの高岡もびっくり。どれくらい放置されていたのでしょうか。

草も木も伸び放題。そこにはジャングルが広がっていたのです。翌日から本格的な作業を開始。高岡自らがユンボを乗り込んで木を掘り起こしていきます。あまりの荒れよう、ユンボを使った作業も思うように進みません。全員が朝早くから日が沈む直前まで働き、数日かけて何とか地面が見える所にまできました。

ジャングルを切り開くと、地面には石がゴロゴロ。ここは元果樹園だったようです。農地にするには見渡す限りに転がっている石を取り除かなくてはいけません。

季節はちょうど夏。ジャングルだった時には日陰もできて、何とか暑さをしのぐことも出来ましたが、陰を作るものが多くなっての作業となるとキツイものがあり作業スピードも低下してしまったようです。

それでも全員が頑張つたお陰で、



高岡自らがユンボにまたがりジャングルを切り開きます。



社員達が一丸となって石拾い。真夏の作業は大変です。



石が取り除かれた後を高岡自らがトラクターで耕します。



愛宕柿
あたごがき

開墾作業をしている周桑郡（現西条市）は、愛宕柿の原産地で全国の7～8割の栽培をしています。今から約1100年前の聖武天皇の神龜年間に石根村大頭（現西条市）へ京都の貴船神社を勧請した時に伝來した柿を良系選抜したものです。品質的には中程度の品種で、特に優れているわけではありませんが、最晩生であるとともに日持ち性が非常に優れ、他の柿がない時期に出回る柿です。

ジャングルだった農地は生まれ変わりましたが、これからが地域再生の本当のスタートです。

※ 次回号では、整備された圃場で原材料となるウコンや黒大豆などを栽培している風景をお届けする予定です。

有機堆肥で土作り

おいしいケールには土作りが大切です。元気な土を作るために、有機の堆肥作りにもこだわります。有機堆肥はおがくず、牛糞、もみがら、豆ガラ、わらなどを材料として使い、さらにEM菌などを混ぜて発酵させます。

EM菌は自然界に生息する微生物を集めて培養したもので、有機堆肥作りには欠かせない善玉菌の集合体です。善玉菌を堆肥の材料に混ぜることで、材料の有機物の発酵分解を促進し、良質の有機堆肥へと導きます。有機堆肥作りには、約二ヶ月という長い時間も必要です。製造ラインに入れられた有機堆肥の材料は、攪拌作業を続けながら発酵され、ラインも終盤に近づくと真っ黒に熟成された、しつとりとやわらかい堆肥へと生まれ変わっています。

出来上がった有機堆肥はじっくり発酵させているので、においも殆どありません。これを圃場へと運び、何度も何度も土と混ぜ合わせます。この作業を繰り返すことにより、圃場の土はやわらかく元気な土へと生まれ変わります。

おいしいケールを作るためには、土作りにたっぷりと時間を掛ける事が大切なことです。



安心と安全をお届けしたいから 私たちはこだわります

ケール栽培の原点は元気な土作り

野菜は土の栄養を吸収して育ちます。

土が元気であれば、元気な野菜が育ちます。野菜本来の栄養をたっぷりと蓄えているのです。しかし土がやせていたら栄養価のあるおいしい野菜は育ちません。元気でおいしいケールを育てるためにも、土はとても大切なのです。

ケールは冬季限定

有機栽培は非常に手間が掛かります。化学的に合成された農薬や肥料を使用せず育てていかなくてはいけません。成長の途中には雑草が生えたり青虫が付いたりしますが、それらを取り除く、それこそ気の遠くなれるような作業を全て手作業で行っています。暖かくなると雑草や青虫も活動の時を迎え、取り除く作業も追いつかなくなってしまいます。

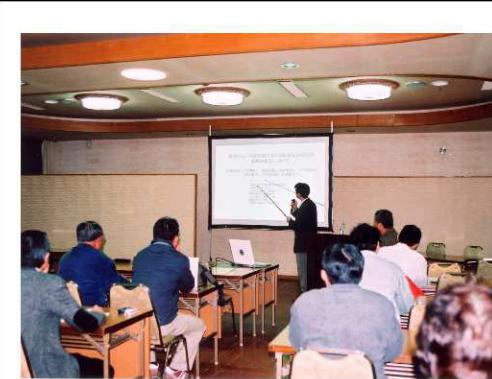
そこで私たちは雑草や青虫の少ない冬場に限って栽培することにしています。この冬季限定栽培、雑草や青虫を防ぐだけではありません。ケールは一年中収穫できる生命力の強い野菜です。しかし収穫は一年中出来ても、時期によって葉の色、栄養、味わいが変わってきます。

夏場のケールは葉の色も薄く、やわらかく育ちます。成育は早いのですが、この時期特に虫に食べられやすくなります。

冬場に育つたケールは夏場のものに比べて、葉も厚く丈夫に育ちます。また、冬の寒さに耐える為に、葉の中には有効成分をたっぷりと蓄えます。

冬野菜が甘くておいしいといわれるゆえんです。

その結果、甘くて栄養価の高いケールとなるのです。



ケールについて勉強中

静岡大学と遠赤青汁株では、ケールについて共同研究しています。ケールジュースを飲んで、ケールの成分が私たちの体にどういう影響を及ぼすのか、みんな熱心に勉強中です。

ほっこり一息



このコーナーでは、愛媛の話題のスポットやおすすめ観光などを毎回お届けしていきたいと思います。

記念すべき第一回目を飾るのは、私のお気に入りでもあるこだわり喫茶店『Naturel(ナチュレ)』を紹介。オーナーの藤山さんは、オーストラリアに住んでいたこともある元カメラマン。店内には藤山さんのこだわりをあちこちに見ることができます。



オーナーの藤山さん

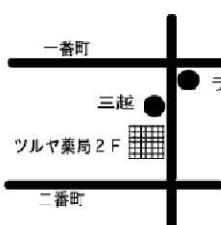
メニューにも健康へのこだわりがいっぱい詰まっています。美容と健康に敏感な女性たちに人気のスポットとなっています。特に窓際のソファ席は居心地も抜群のよう、なかなか空席にならない程。私も一度も座ったことがない特別席です。松山に来られた際には、Naturelに立ち寄ってみませんか?

■オーナーのこだわりメニュー



青汁プリン(左)と
青汁パンケーキ(右)

パンケーキには青汁ジュースをセットにしてみました!意外にも人気のメニューだったりします。この他にもヘルシーでお洒落なメニューがいっぱいです。



Naturel(ナチュレ)

Tel/Fax 089-941-1130
営業時間 11:00~23:00
定休日 不定期



花粉情報局

全国各地で花粉注意報が聞かれるようになりました。そこで花粉の飛散時期と期間中の対策などをご紹介したいと思います。

2004年の夏が非常に暑かったということもあり、早い時期から『今年は昨年の10倍から20倍の花粉が飛ぶだろう』と予想されていました。花粉が気になる方は次のようなことを心がけましょう。

- [1] 花粉飛散予報をこまめにチェック
- [2] 外から帰ったら、うがい・手荒い・洗顔を
- [3] 洗濯物は室内干し(布団も屋内で陰干し)
- [4] 掃除の際には窓を閉め、拭き掃除を中心
- [5] 外出する時には、花粉マスクを

特集

春先が苦手なあなた 始めよう健康習慣!

**ベータカルテンをたっぷりと含む野菜が
緑黄色野菜。**

最近では色素含有が多く、赤、黄、緑色の強い野菜のことを「緑黄色野菜」、色の薄い野菜のことを「淡色野菜」と分けています。そして、緑黄色野菜はベータカルテンをたっぷりと含み、またその有効成分も多く含んでおり、健康に気を使っている人間で大人気となっています。

厚生労働省のガイドラインでは、緑黄色野菜とは新鮮な野菜100g中に、600μg以上のベータカルテンを含むものとされています。

ではなぜベータカルテンが体にいいのでしょうか。ベータカルテンは体の中の脂肪組織に蓄えられ、働くときは、小腸の粘膜の中でビタミンAに変身します。

ビタミンAは動物の肝臓に多く含まれていますが、しかし、緑黄色野菜からベータカルテンとして摂取したものを直接摂りすぎると有害です。

ビタミンAと共に活性酸素に有効なACE(Eース)と呼ばれています。「サラダを食べていれば健康変えて使う分には害なく安全だといわれています。

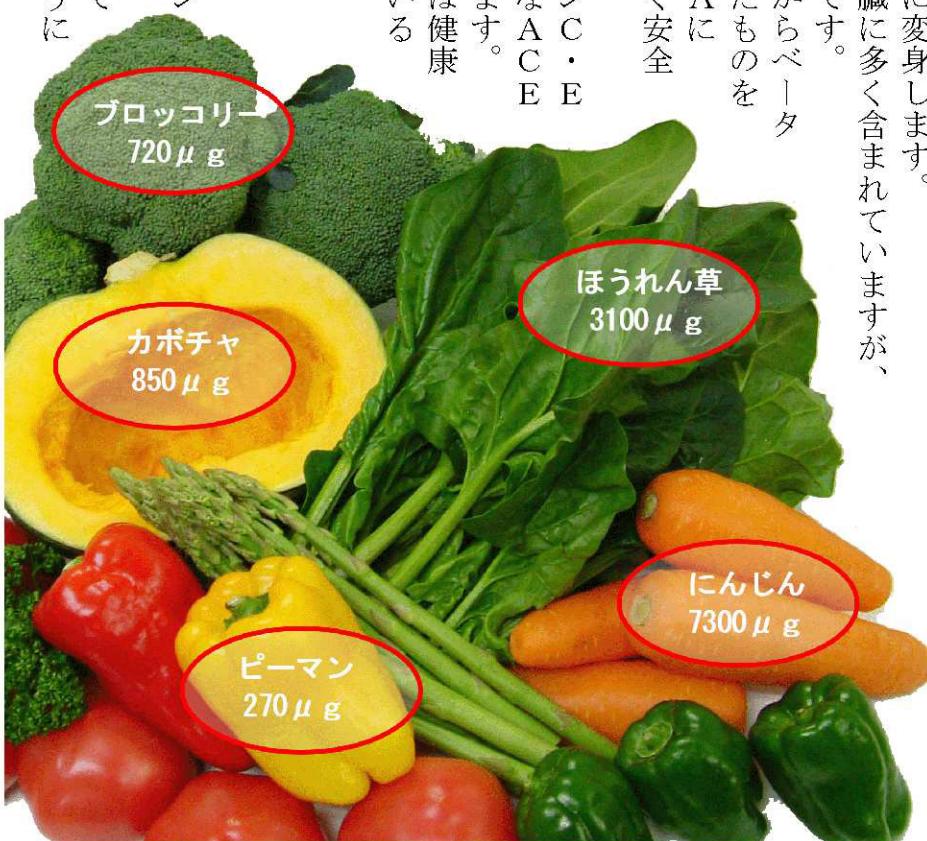
ビタミンAは、ビタミンC・Eと共に活性酸素に有効なACE(Eース)と呼ばれています。

女性は多いようです。「サラダを食べていいね」と思い込んでいるにいい」と思い込んでいます。

女性は多いようです。「サラダの定番、レタス、キュウリ、グリーンアスパラなどは、ほとんどベータカルテンが含まれていません。

家庭での食事は意識して緑黄色野菜を食べるよう

たいものです。



新製品のご案内

ブラジルから大自然の恵みをお届けします。

社長自ら広大なブラジルへ赴いて探し当てた、こだわりの厳選素材を使った商品が誕生しました。



遠赤有機アガリクス粒
有機ガリクス100%
350粒入り ¥17,850 (税込)

兄弟舎
有機ガリクス グリーンブロッロス
100g入り ¥1,050 (税込)